

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会

ホームページ掲載資料一覧 (2022年1月1日から2022年12月31まで有効)

注意喚起

「2022年禁止表 糖質コルチコイド」について



2022年からの糖質コルチコイドの局所注射が禁止になりました。変更点とウォッシュアウト期間（体内に吸収された薬物が排出される期間）について詳しく載っています。

DNS「アイアンSP」に関する注意喚起



国産サプリメントに筋肉増強剤の混入が起きた事例の紹介です。国産製品でも禁止物質が混入することがあるため、サプリメント使用前に十分に検討して下さい。

「特定地域で生産された食肉に関する注意喚起



中国・メキシコ等では食肉の肥育で禁止物質が使用されていることがあります。食肉から禁止物質を体内に取り込んでしまうこともあるため、海外渡航時には注意が必要です。

海外製サプリメントANAVITEに関する注意喚起



海外製サプリメントの禁止物質混入に関する注意喚起の資料です。過去、同じ製品で違反が2度起きています。安易なサプリメント使用は控えるべきです。

糖質コルチコイドの競技会時の口腔内局所使用の禁止について



主に口内炎に対する軟膏や貼付剤の使用についての注意点で、ステロイド含有製剤が使用禁止になりました。禁止物質を含む市販薬もあるので要注意です。

全般

競技者アンチ・ドーピングガイド



水泳競技者が知っておいてほしいアンチ・ドーピングについての内容です。競技者をサポートするスタッフの方も一読お願いいたします。

競技者TUEガイド



治療使用特例(TUE)の申請方法は競技者のレベルによって異なります。競技会の直前に慌てて申請することのないように、事前に確認しておいて下さい。

担当医師へのお願い



競技者の担当医師に知っておいてもらいたい内容についてです。競技者は医療機関受診時に本資料を持参し、担当医に提示することをお勧めします。

薬剤師会ドーピング防止・ホットライン



薬剤師会の薬の相談窓口の連絡先です。日本水泳連盟の「薬の相談窓口」以外の問い合わせ先を知っておくのも良いでしょう。

薬の相談窓口集計結果



2017年に日本水泳連盟アンチ・ドーピング相談窓口（HPの薬の相談窓口）で受けた問い合わせ件数とその内訳の報告です。約2割の相談に禁止物質が含まれていました。

薬やサプリメント等について

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない一般用医薬品（市販の薬）の例が掲載されています。他にも使える薬がありますので、不明な点は薬の相談窓口にお問い合わせください。

女性アスリートおよび関係者の皆様へ



月経痛の影響で、普段の練習や大会で本来のパフォーマンスを発揮出来なかった経験はありませんか？月経痛に対するお薬の例が紹介されています。

花粉症・鼻炎の薬について



花粉症や鼻炎の影響で、本来のパフォーマンスを発揮出来ない選手は必見です。ドーピング違反にならず、眠気の副作用が少ないとされるお薬の例を紹介しています。

ぜんそくの薬を使う時の注意点



ぜんそくの治療薬には吸入薬、飲み薬、貼り薬などがありますが、禁止物質を含んでいるものが多数あります。ぜんそくの治療を受ける方は、必ず確認してください。

サプリメント、栄養ドリンク、エナジードリンクについて



サプリメントやエナジードリンクには禁止物質が含まれていることがあります。意図せずにドーピングになることがあるため注意しましょう。

[薬の相談窓口]も積極的にご利用ください。薬の写真もアップロードできるようになりました。